

坂城中3年 滝澤來樹さん 山下結衣さん ジュニアオリンピックに出場！！

坂城中学校3年、滝澤來樹さんと山下結衣さんが「JOCジュニアオリンピックカップ第55回U16陸上競技大会」に出場する報告のため、10月3日(木)、役場に来庁し、真剣な表情で「一生懸命頑張ってきた」と抱負を話しました。

滝澤さんは、男子走幅跳で、この大会に出場するための要件である2種目の標準記録を上回り、さらにその中の上位30人に選ばれ、見事出場を決めました。

山下さんは、女子150mの長野県大会で自己ベストで優勝し、県の代表として出場を決めました。また、「みんなでつながりレーフェスティバル2024」の長野県代表として、4×100mリレーのメンバーにも選出されました。



▲(左から)
塚田教育長、山村町長、山下さん、滝澤さん、
塩野入コーチ、坂城町スポーツ協会 高井
会長

坂城町農業クラブから 3 保育園と幼稚園にぶどうのプレゼント！



10月4日(金)、町内の農業経営者などで構成される坂城町農業クラブ(会長：藤岡清宣さん)の皆さんが、町内3保育園と坂城幼稚園を訪問し、自ら生産したぶどうを園児たちにプレゼントしました(写真は坂城保育園)。これは、町の特産であるぶどうの「旬のおいしさ」を届ける食育活動として平成26年から行われています。

農業クラブの皆さんが来る前から「何が届くかなあ?!」と嬉しそうに待っている園児もおり、会員の柳澤さんから「このぶどうの名前分かるかなあ?」と質問されると、

園児からは「知ってる〜!」「食べたことあるもん!シャインマスカット!」などと元気よく答えていました。

ぶどうはシャインマスカットとナガノパープル、クイーンルージュの3種類で、各自自宅に持ち帰り味わったということです。



(公社)更埴地域シルバー人材センターの皆さんによる 保育園のボランティア作業が行われました

10月5日(土)、町内の3保育園で、更埴地域シルバー人材センターの会員の皆さんによる奉仕活動が行われました。総勢34名の方が、3保育園に分かれて草刈りや園庭の整備などの作業をしてくださいました。

更埴地域シルバー人材センターでは、高齢者の多様な就業機会を確保し、地域や企業から施設管理や植木の剪定、草刈り業務などを受託し、事業を行っています。

経験を活かした作業により整備された園で、元気に駆け回る園児の遊び声が聞こえてきそうです。ありがとうございました。



金子 司様よりご寄附いただきました

金子司様より、町の文化財保護のためにご寄附いただきました。10月8日(火)に金子さんが来庁し、山村町長と塚田教育長に寄附金を手渡しました。

金子家は、江戸時代前期から続く旧家で、所有の土蔵には江戸時代からの古文書や民具などが保存されているとのこと。それらを整理する中で、文化財センターが、町の歴史や文化財の調査・収集・保存・伝承をしていることを知り、是非ともそのような事業を支援することで、広く町民の皆さんに町の歴史や文化財などに関心を持ち、次の世代に伝えていってほしいという想いからご寄附くださいました。

ご寄附いただきありがとうございました。文化財保護のため、大切に活用していきます。



▲(左から) 山村町長、金子さん、塚田教育長

レクリエーション・軽スポーツ交流会 開催！



10月12日(土)、町体育館で、障がいのある方もない方も、子どもから高齢者まで誰もが気軽に楽しめる「レクリエーション・軽スポーツ交流会」を開催しました。

これは、多様な人が共に交流し、お互いを理解し尊重し合うインクルーシブな社会の実現に向けて、障がいのある方の社会参加や障がいに対する理解の促進等を図るために実施しているものです。

当日はボッチャ、モルック、フライングディスク、スマイルボーリングの4種目を行い、約50名の参加者が心地よい汗を流し、馴染みのない種目にも挑戦し集中する姿に自然と応援する声や拍手が送られ、会場は笑顔や笑い声であふれていました。



鉄道フェスタ in さかき ～懐かしい昭和へタイムスリップ♪～開催しました！

10月13日(日)、坂城駅前多目的広場と男女共同参画センターの2会場で「鉄道フェスタ in さかき～懐かしい昭和へタイムスリップ♪～」を開催しました。

坂城駅前多目的広場に静態保存されている169系電車が活躍した昭和40年～50年代の自動車(クラシックカー)の展示をはじめ、ボンネットバスの乗車体験、Nゲージ・ジオラマ走行の展示、昭和の懐かしい鉄道グッズやレコード、黒電話通話体験など、電車好き、車好き、レトロ好きの心をつかむものが満載でした。



また、野菜や弁当、団子やおやき、クレープなどの出店も立ち並び、小さな子どもから昭和時代に青春の日々をすごしてきた方まで、秋晴れの中、各駅停車の旅を楽しむかのようにのんびりとした時間を満喫しているようでした。



坂城高1年生 坂城保育園で奉仕活動！

10月17日(木)、坂城高校1年生14名が、総合学習「坂城町フィールドワーク」のひとつとして、坂城保育園で奉仕活動を行いました。

この「坂城町フィールドワーク」は、自分たちが通学している高校が所在する「坂城町」について学ぶ時間で、高校生たちは2つのグループに分かれ、ワインぶどうの収穫と坂城保育園での奉仕活動を体験しました。



園児たちは、高校生が来るのを心待ちにしていたらしく、「今日はお姉さんが来るんだ♪」と嬉しそうに話す園児や「どこ？お兄さんは！？」と早く一緒に遊びたくて探す園児など、クラス中がわくわくした雰囲気に包まれていました。

高校生たちは、まず、サンシェードの撤去など園内の作業を行い、その後、お昼寝明けの各クラスに入り、園児たちと一緒に布団を畳んで、ブロックで遊んだり、本の読みきかせなどをして、あっという間に打ち解けていました。



長埴建設労働組合による保育園奉仕活動が行われました

10月20日(日)、町内の3保育園で、長埴建設労働組合の皆さんによる奉仕活動が行われました。

当日は、坂城支部の12名の職人の皆さんが園児が安全に過ごせるよう、園児が使用する机や椅子、室内のドアの修理や、傷んだ下駄箱に新しい板を張っていただくなどしました。なかでも、机や椅子のささくれや、床のはがれた箇所などは、こちらの要望を聞き取りながらひとつひとつ丁寧に修理してくださいました。

皆さんには朝早くから作業していただき深く感謝します。ありがとうございました。



南条小学校 150 周年記念式典並び記念コンサートを開催

10月25日(金)、南条小学校の音楽堂で「南条小学校150周年記念式典」と「記念コンサート」が行われました。

式典の後に行われた「記念コンサート」は、同小学校の卒業生でもあるピアニストの山極遥香さん、ソプラノ歌手のたえこさんとトロンボーン奏者の高木夏子さんによるアンサンブルで、知っている曲が演奏されると、たえこさんの歌声と合わせて、小さく手振りを加えながら口ずさんでいる児童もいました。

アンコールでは、山極さんと高木さんの伴奏で、たえこさんと全校児童が合唱し、一体となった全校児童の心地よい澄んだ歌声が、音楽堂に響き渡っていました。

また、夕方には、日頃からお世話になっている地域の皆さんへ感謝を込めて、「坂城町立南条小学校150周年記念コンサート」も行われました。

「記念コンサート」後に行われた「150周年記念音楽会」の様子については、16ページ「学校だより」をご覧ください。



町人権擁護委員の田原さんが法務大臣表彰されました



▲(左から) 山村町長、田原さん

永年にわたり、町人権擁護委員として、地域の皆さんの人権擁護と人権思想の普及に多大な貢献をされた功績がたたえられ、10月21日(月)、田原茂樹さんが法務大臣表彰されました。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間のボランティアの方々です。現在、約400名の人権擁護委員が長野県内の市町村に配置されています。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権侵害の被害者を救済したり、地域の皆さんに人権に関心をもってもらえるように積極的な啓発活動を行っています。

宮下歌謡教室様より車いすをご寄贈いただきました

10月31日(木)、宮下歌謡教室を主宰する作曲家で歌手の宮下賢さんと生徒の伊藤富美子さんが来庁し、車いす2台をご寄贈くださいました。

宮下歌謡教室では毎年10月にチャリティーコンサートを開催し、その収益金の一部で車いすをはじめとする福祉用具を購入、近隣の高齢者施設などに寄贈されているということです。26回目を迎える今回は、「坂城町に！」とありがたいお申出をいただきました。

役場に来庁される皆さんのために活用していきます。ご寄贈いただきありがとうございます。



▲(左から) 伊藤さん、山村町長、宮下さん、白井副町長

千曲坂城猟友会 びんぐしの里公園でキジを放鳥

10月22日(火)、びんぐしの里公園で、千曲坂城猟友会によるキジの放鳥が行われ、村上保育園の園児たちも参加しました。

このキジ放鳥事業は狩猟鳥獣の保護増殖、自然界の食物連鎖促進などを目的として、(一社)長野県猟友会が県下を4ブロックに分けローテーションで行っているもので、今年は佐久地域から千曲坂城地域までの東信ブロックで180羽放鳥される予定とのことです。そのうちのオスとメスの各10羽ずつがびんぐしの里公園で放たれました。

園児たちは、ダンボールでできた巣箱に入っているキジを穴か



ら覗いて、「あ！

しっぽが見えた！」とか「目があった！」と面白そうに友達に教えていました。そして、猟友会の皆さんが箱から出したキジとともに園児たちの近くまでやって来ると、最初は恐々見るだけだったのが、人差し指でそっと触ってみたり、慣れてくると撫でたりと、初めての体験を楽しんでいました。

猟友会の方がキジを空へ放つと、元気に飛んでいくキジに向かって、園児たちは、「ばいばあ〜い！！」と手を振って見送っていました。

